

業務フローのAI代替状況レポート

Analysis Report



分析期間

2025年3月 - 2025年7月現在

ChatGPT と カスタムGPT の違い

ChatGPT	カスタムGPT
カスタマイズせず、そのまま使う 「汎用的なAIチャットツール」 検索や簡単な相談など、 幅広い用途で利用できる	特定のタスクや業務（例：医療翻訳、議事録要約、スクリーナーチェックなど）に合わせて、チームが内容や指示を“チューニング（調整）”した 専用のGPT 業務に特化した設定や過去のノウハウを反映しているため、 より精度の高いサポートやアウトプット が得られる

提案・見積作成依頼（受注前）

カテゴリ	タスク	従来	AI導入内容	削減効果
判断	対象者・条件が日本でリクルート可能か判断	案件ごとに必要な情報を探し、リクルートパートナーに都度問い合わせ。メンバーごとに知識差があり、確認に時間がかかる。	ChatGPTにより初期見解を即取得	-20～30分
確認	スクリーナーの初期版で国内適合性の確認	日本語要約後、国内実情に照らして内容と条件を一つ一つ照合	カスタムGPTで注意点を自動リスト化	-20分

プロジェクトセットアップ 段階（受注前・受注後）

カテゴリ	タスク	従来	AI導入内容	削減効果
チェック	スクリーナー内容の実態確認（ドラフト時点）	条件・薬剤情報の詳細確認や国内承認状況の検索。 リクルートパートナーへの打診	カスタムGPTで国内基準との整合性を自動チェック	-90分
翻訳	スクリーナー翻訳（条件の確認）	WORD 12~18ページ程度の各案件で内容が異なる医師や患者のスクリーナーを正しい専門用語を確認しながら翻訳	カスタムGPTの翻訳で作業	-8~20万円
手配	資材翻訳リソースの確保	翻訳の納期に合わせて外注先を確保し、繁忙期には複数業者との日程調整が必要だった	ChatGPTで内製化し外注費は消滅	-30分

リクルート準備とリクルート開始～リクルート終了まで

カテゴリ	タスク	従来	AI導入内容	削減効果
翻訳	インタビュー同意書の翻訳	案件ごとに異なるインタビュー用同意書（A4 1-2枚）を毎回手作業で翻訳	ChatGPTで同意書の自動翻訳	-30分

提示物・ガイドの翻訳周り

カテゴリ	タスク	従来	AI導入内容	削減効果
共有	モデレーター用ガイドの暫定翻訳共有	調査概要や資材を一時的に機械翻訳し、日本語でモデレーターに共有していた	ChatGPT導入で、この暫定翻訳作業が不要に	-20分
納品	提示物翻訳の納品	外注翻訳を社内でダブルチェックし、翻訳者による品質やトーンのばらつきを調整	ChatGPTで統一的な翻訳納品が可能に	-9~12万円
納品	インタビューガイド翻訳の納品	外注や社内翻訳をダブルチェックし、専門用語や語訳ミスの修正	ChatGPTで統一的な翻訳納品が可能に	-6~9万円

インタビュー当日／期間中

カテゴリ	タスク	従来	AI導入内容	削減効果
連絡	モデレーターへの追加質問・変更点共有	クライアントからの追加質問を逐次翻訳し、モデレーターへ即時共有	英語のフィードバックをChatGPTで即翻訳	1インタビューにつき -10分
対応	資材アップデートへの対応	実査期間中に資材変更が発生した際、次回インタビューまでに全てを手動で修正・再共有	ChatGPTの翻訳を使用	-30~90分

納品物対応

カテゴリ	タスク	従来	AI導入内容	削減効果
作成	録音からの個票作成	専門用語が多く、各種ツールの限界部分はモデレーターが手作業で対応	カスタムGPTで大幅に時短・自動化	-2時間 (1個票につき)
チェック	書き起こしの再確認と品質チェック	音声認識の誤字脱字を防ぐため、原音声を繰り返し聞いて確認・修正	カスタムGPTにより品質チェックの効率化	-2時間 (1個票につき)
翻訳	書き起こしの全翻訳	1件あたりA4 15~20ページの大量テキストを手作業で翻訳していた	ChatGPTにより翻訳	-4時間 (1個票につき)
分析	報告書内容の精査	書き起こしを読み込み、分類し、調査目標ごとに下書きを担当	カスタムGPTで要約・分類のたたき台を作成	案件により -3~6時間
作成	報告書の作成	音声ファイルや書き起こしから、テンプレートに沿って必要事項を全て手作業でまとめていた	ChatGPTでテキストベース部分の下書きを自動生成	案件により -6~10時間

ユーザーの声

メール作成・添削

「ベース文さえ用意すれば、意図通りの内容に整えてくれる。ニュアンスの微調整は必要だが、大幅な時短になっている。」
「返しにくい内容への返信原稿も作成してくれる。」
「ガイドラインや厚労省資料などの出典付きで、短時間で正確な情報を得られる。」

翻訳（日⇔英）

「単なる添削ではなく、文脈や意図を汲んだ表現や代替案も積極的に提案してくれる。」
「部分的な言い換えにも柔軟に対応でき、最適な表現を効率よく選択できる。」
「添削という枠を超えて“アドバイザー”のような役割も担ってくれる。」

実査準備・サポート

「日本の臨床現場の情報、治療選択肢を短時間で把握することができる。」
「ファクトチェックを自身で必ず行うことにより、より理解が深まっている。」
「実査中に飛び出してくる分からない単語も素早く概要を把握できる。」

レポート作成・分析

「自分だけでは気づきにくい、“足りていない視点”や“分析のとっかかり”を提供してくれる。」
「企画レポートのブレインストーミングや構成の壁打ちにとても役立っている。」

書き起こし・CA

「カスタムBotを活用することで、書き起こしやCAなどの納品物の質が統一できる。」
「最終的な人の目によるチェック・微調整は必要だが、作業効率が格段に上がった。」

知識確認

クライアントに提案する前に、日本の現状や自分の考え方を相談できる。」
「実際にその内容をクライアントへ共有することで、新規案件の獲得にもつながっている。」
「これまで上司に確認していた内容もAIに壁打ちすることで解決。上司の負担も減り、全体の時間短縮になっている。」

プロンプト(指示)について



ChatGPT等の生成AIでよいアウトプットを得るには
プロンプト（指示）が最も大切です。
プロンプトは「**具体的**」であり、AIが「**背景がわかる**」ように工夫すると効率的に作業ができます。

翻訳・要点抽出

プロンプト例	POINT
「この英文を日本語で正確かつ自然に翻訳してください。 専門用語も医療現場で使う表現にしてください。 医師を対象としていることを配慮した文面にしてください。」	医療分野の翻訳で “直訳ではなく自然な表現” を希望することも明記する



メール添削・ドラフト作成

プロンプト例	POINT
「このクライアント向けメール草稿を、相手に伝わりやすく、丁寧なビジネスメールに添削してください。日本のビジネスマナーに沿った表現にしてください。」	“カジュアル/フォーマル”など トーンも指定 できるとベター

厚労省・ガイドライン等のリサーチ

プロンプト例	POINT
「日本の厚生労働省の公式情報や医療ガイドラインをもとに、〇〇について最新情報・参考URLを出典付きでまとめてください。」	“ 出典付き ”と必ず指定。 回答に“ 参考リンク ”もお願いする

書き起こしチェック

プロンプト例	POINT
「この音声書き起こしデータに誤認識や不自然な箇所がないかチェックし、修正すべき点を指摘してください。」	“ 医学用語の誤記、話者の混同なども指摘して ” と伝えると安心

レポート原稿のたたき台

プロンプト例	POINT
「ファイルのインタビュー書き起こしをもとに、プロジェクト報告書のドラフト案（サマリー部分）を作成してください。調査目的を意識した要約をお願いします。まずはレポート構成のたたき台をお願いします。もし情報が足りない場合は質問してください。」	最初から完全な物を期待せず、順を追って タスクをステップごとに指示する。 対話を繰り返しながら、アウトプットをチューニングしていく。 「納品フォーマット例」や「書き方のトーン例」をファイルで共有して指定すると ChatGPTが期待された内容をより理解する

Feedback



使い続ける上での
フィードバックの勧め

アウトプットが期待通りでなかった場合、
期待に沿っていた場合、いずれもその都度
ChatGPTにフィードバックをする事が
とても大切です。これにより次回依頼時の
アウトプットが変わっていきます。
ChatGPTの最大の強みである過去から
学ぶ機能を最大限活用しましょう。

ChatGPTは背景情報や指示が明確なほど、
精度が上がります。よりユーザーの役に
立とうという概念で設計されている
生成AIですので、新人を育てるように
丁寧なフィードバックを積極的にする事が
ChatGPTとうまく付き合うコツです。

フィードバック例

「今の回答はすごく良かったので、そのまま使えました。
次回もこの様にお願いします。」

「〇〇の情報のまとめかたが意図と違ったので、
▲▲部分を重視して再度お願いします。」

「××の情報が間違っていました。
このような依頼の時はウェブを参照しに行って最新情報を取得してください。」

----- おわりに -----

ChatGPTは業務の効率化や新しい発想を生み出すための強力なパートナーです。
しかし、AIにも限界があり、一見正しそうでも誤った内容を返すことがあります。
提出物は必ず社内レビューを通し、内容の正確性・適切性を確認してください。